

2019 年度自己点検・評価フォーム  
(全学委員会用)

就職・キャリア支援委員会  
(就職・キャリア支援部就職・キャリア支援課)

(就職・キャリア支援委員会承認済)

## 【基準7】学生支援

### 点検・評価項目

- (1) 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。
- (2) 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

### 【評価の視点】

- ◎ 学生支援体制の適切な整備
- ◎ 学生の修学、生活、進路、正課外活動（部活動等）を充実させるための支援の実施、その他、学生の要望に対応した学生支援の適切な実施
- ◎ 適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価、点検・評価結果に基づく改善・向上

### 【記載の際に考慮すべき点】

- ① 修学支援、生活支援、進路支援その他支援を行うための体制は、方針に沿ってどのように整備されているか。
- ② 修学支援、生活支援、進路支援その他支援の取り組みは、学生支援に関する大学としての方針に沿って実施されているか。
- ③ 修学支援について、以下の対応、取り組みはどのように行われているか。
  - ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育
  - ・学生の自主的な学習を促進するための支援
  - ・障がいのある学生に対する修学支援
  - ・留学生に対する修学支援
  - ・学習の継続に困難を抱える学生（成績不振、留年者、退学希望者等）への対応
  - ・学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）
- ④ 生活支援について、以下の対応、取り組みはどのように行われているか。
  - ・学生の心身の健康、保健衛生及び安全への配慮等に関わる指導、学生の相談に応じる体制の整備
  - ・ハラスメント（アカデミック、セクシュアル、モラル等）防止など学生の人権保障に向けた対応
- ⑤ 進路支援について、以下の対応、取り組みはどのように行われているか。
  - ・学生のキャリア支援を行うための体制（キャリアセンターの設置等）の整備
  - ・学生の社会的及び職業的自立に向けた教育（キャリア教育）
  - ・進路選択に関わる支援やガイダンス、その他キャリア形成支援
- ⑥ その他支援について、部活動、ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援など、どのような支援が行われているか。
- ⑦ 学生支援に関する自己点検・評価は、どのように行われているか（基準、体制、方法、プロセス等）。
- ⑧ 自己点検・評価結果に基づき、学生支援の改善・向上に向けた取り組みは、どのように行われているか。

【現状説明】※評価の視点を踏まえ、具体的に記載してください。

<評定： **A：目標が達成されている**>

- (1) 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。

進路支援を行うための体制は、白山、朝霞、川越、板倉、赤羽台の各キャンパスに設置された就職・キャリア担当部署、就職・キャリア支援室、を中心に整備を行い、学生の社会的及び職業的自立に向けた4年間のキャリアデザイン（1年生：自分を知る、2年生：なりたい自分を探す、3年生：なりたい自分をつくる、4年生：希望の進路へ向けた実践）に基づき、雇用情勢や新たな採用形態の動きをみながら、就職・キャリア支援委員会における報告ならびに意見交換を経て、各キャンパスにおける学びの特性を踏まえた体系的な就職・キャリア形成

支援プログラムを実施している。

4年間のキャリアデザインをスタートする1年生全員に対し、社会人として活躍できる汎用的な能力について「知識活用力」「行動実践力」の二側面から測るテストを実施し、この結果から自身の強み・弱みを客観的に知り、働くことへの意識を高め、今後の「学業」への取り組みや学外活動の目標設定を行っている。2年次においては、1年次の振り返りを踏まえて社会との繋がりから学習内容を捉える視点の涵養、実学的な学びによる職業意識の醸成に向けたインターンシップへの誘導を行う他、3年生・4年生と共に業界研究、企業研究、業務研究を行い、進路選択の視野を広げることができるような支援を行っている。あわせて、職業的自立心の向上に意欲がある学生を対象に、アセスメントテストを応用した、自身の価値を最大限に高めるための勉強会を実施している。

3年次においては、1年次において実施した、「知識活用力」「行動実践力」を測るテストを再度受検し、1年次からの成長と変化の度合いを認識し、本格化する就職活動に備えた自己分析ができるような支援を行うと共に、民間企業志望者、公務員志望者、双方に選考試験対策を含めた実践的な支援を行っている。また、各業界を代表する企業をお招きし、学生の業界理解、企業理解、業務理解の一助となる場を創出し、志望動機を明確にするための支援を行っている。4年次においては企業、自治体の選考活動へスムーズに進むことができるように、企業、自治体とのマッチングの場を創出し、学生の希望進路へ向けた実践的な取り組みを行うと共に、選考が進んでいる学生に対しては個々の状況にあわせた個別相談による支援とフォローアップを行っている。上記各支援は全て大学院生も同様である。

グローバル人材の養成に向けては、文部科学省の委託事業である「留学生就職促進プログラム」を首都圏私立大学で唯一受託しており、他部署と連携を図りながら国外からの留学生就職支援に取り組んでいる。

また、学生のみならず、保護者の就職環境理解を深めるための取り組みを行い、保護者と大学による学生の自立に向けた二人三脚の就職・キャリア支援を行っている。

(2) 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

学生支援の適切性についての定期的な点検・評価は、年2回～3回開催される就職・キャリア支援委員会において行われている。就職・キャリア支援委員会は、副学長、各学部から選出された教員各1名、教務部長、教務部事務部長、就職・キャリア支援部長で構成され、各種支援の実施方針の策定と総括を通して必要な改善を行い、就職・キャリア支援部ならびに各キャンパスの就職担当部署を通じて次年度の学生支援に反映している。

改善・向上に向けた取り組みとして、前述のアセスメントテストにおいて学部1・3年生を対象に学生生活及びキャリアに関するアンケートを併せて実施し、その回答に基づき学生の志向を分析している。この学生の動向を示す分析結果は学長室会議、各学部教授会、就職・キャリア支援委員会にて報告、共有し、各学部でも「知識活用力」「行動実践力」の育成を教育目標とした初年次でのゼミナールや授業での活用が徐々に進んでいる。また、東洋大学全キャンパスの就職支援の核として実施している、学部3年生、院1年を対象に、就職活動の基礎を理解し、円滑に就職活動を進めるための支援行事「就職活動支援セミナー」については、5キャンパスの就職担当者との定期的な打ち合わせを通じて、年度ごとに時期や内容について検討・見直しを行っている。さらに、学生のキャリア志向に合わせ、業界・企業研究の対象を選定したセミナーを実施し、全学部合同で実施する企業説明会でも企業の選定に反映させるなどしてきた。

各キャンパスの就職支援についても、全学的な支援に加え、キャンパス・学部ごとの特性を活かして実施している。これら支援も随時アンケートを実施し、特に就職活動について不安を抱えている旨の回答があった場合には、個別に連絡し就職支援室での個別相談を促す、セミナー内で講師から広く伝えるなど、不安が解消されるように努めており、改善を重ねるだけでなく、就職・キャリア支援委員会でも定期的に報告がなされ、最新の学生支援の状況を教職員で共有できるよう取り組んでいる。

全キャンパスで基本となる就職活動支援セミナーを実施することで全学共通の支援環境が整い、どのキャンパスでも同様に学生相談を受けることが可能となっている。また、採用時期に合わせた段階的なセミナーを実施することで、学生の円滑な就職活動を促進させ内定獲得に導いている。就職活動支援セミナー実施後の学生アンケート結果を分析し、学生支援の適切性について検証し、次年度の同セミナー実施に反映している。

このように、各学部の正課教育によって養成された学生の力を土台に、各キャンパスの学生支援に対する取り組みを継続してきた結果が、就職率 98.5%という数字に表れており、学生個々がそれぞれの希望にあわせた進路を選択できていることを表している。このことに関しては適切な支援が行われているといえる。

点検・評価項目(1)(2)を通して、長所、問題点、将来に向けた発展方策を記載してください。

#### 【取り組みの特長・長所】

就職・キャリア支援委員会における報告、協議を踏まえ、各キャンパスの特長を活かした取り組みを行っている。

#### ■全学共通

##### ●留学生支援（外国人）

外国人留学生の就職支援については、国際部と連携した留学生就職促進プログラム（5カ年計画）を受け、卒業生のうち6割の日本国内での就職を目指しており、ビジネス日本語教育の充実、インターンシップの促進を図っている。また地域の枠を超えた留学生就職を目指しており、地方大学とも連携をしながら就職支援に取り組んでいることが特徴である。入学後の早期からビジネス日本語習得の重要性を伝え、留学生就職促進プログラムのビジネス日本語講座等の受講を促している。更に、イングリッシュトラックの学生の増加を踏まえ、英語でのガイダンスの実施やキャリアカウンセリングの実施（赤羽台キャンパスには専門の相談員を配置）や外国人留学生の採用に特化した合同企業説明会を開催し、単に日本人向けの就職支援に参加を促すだけでなく、外国人留学生が躓きやすい個々の事情に特化した支援を行うことで、日本人就職支援にもスムーズに参加できるよう取り組んでいる。こうした取り組みの成果として、全国平均3割程度の卒業生に占める日本国内での就職者率が、プログラム3年目にして5割超（学部）の就職者率を達成することができた。

##### ●留学生支援（日本人）

最近の就職活動は早期化の傾向が顕著となっており、3年生の段階での海外留学だと就職活動スケジュールと重複する懸念がある。本学の日本人留学生の就職支援については、こうした状況に対応するため留学前、留学後に実施する留学者向けの就職セミナーに加え、海外留学中の学生に対しても学内で実施している就活支援セミナーの映像配信、また個別相談についてはビデオ会議システムでの個別相談対応をし、就職活動に遅れることなく、また、帰国後スムーズな就職活動ができるよう取り組んでいる点が特徴的である。特に個別相談については世界中の留学先から受け付けており、国内での就活生と同様に企業選定、書類作成、面接等の実践アドバイス迄対応しており、不安なく留学に臨めるよう支援を組んでいる。

##### ●UIJ ターン支援

18自治体と就職協定を締結し、当該協定自治体との連携を強みにした支援を行っている。今年度は締結自治体に本学相談ブースを開放し、個別相談会を行った。

##### ●アスリート支援

デュアルキャリア形成に向けた、選手から社会人へ意識をシフトさせる支援が特長である。アスリートに直接行う支援のみならず、日常の部活動における指導の段階でのキャリア形成醸成を目標に、強化部、準強化部指導者に向けたキャリア支援講座を開催する予定である。また、企業訪問20社を目標に、アスリート採用枠の拡大を進めている。

## ■キャンパス独自のもの

### ●伴走型支援

白山キャンパスではアセスメントテスト活用の一環として、低学年参加・グループワークが特徴の伴走型支援行事「UP 講座」を実施している。1年次から3年次までの複数年の受講を前提とした積み上げ型の講座であり、1クラス約100～150名。講座の成果として高いレベルで「自走」による就職活動ができる学生を育てることが目標である。アセスメントテストの結果は、1年生の受講者を募集する際に、就職活動における強みの1つである「対人基礎力」が高レベルにある学生を抽出するために利用している。

講座内容は自己分析、業界・企業研究等が中心で、グループワークによる討議を交えながら進行している。知識や思考法の伝授による「スキルセット」と、自分で考えて動くための「マインドセット」により、学生の自己効力感を高め、自発的な行動を促している。

講座の受講を通して学部を超えた横のつながりを活発化し、受講生以外の一般学生にも効果を波及させること、および、将来的に講座受講者が4年生内定者、社会人として後輩学生に指導・協力をするといった、縦のつながりが循環されるようなシステムの構築を目指している。

### ●障がい学生支援

白山キャンパスでは、ウェルネスセンターが2018年に設置されたことに伴い、学生サポート室と、対象学生の把握とサポートの仕方について定期的な連携支援を行っていることが特長である。また、採用に理解がある企業や団体との連携を深めインターンシップ先の確保に力を入れた結果、延べ5名の学生がインターンシップに参加した。

### ●PBL 講座、就業力育成プログラム

川越キャンパスでは、業界・企業・職種理解をより深めるための取り組みとして、理工・総合情報学部全学年を対象としたPBL 講座を行った。

板倉キャンパスでは、1・2年生をメインターゲットとした工場見学バスツアーを行い、見学だけではなく社員との座談会やパネルディスカッションを経て就業力醸成の一助とした。

### ●全員面談

板倉キャンパスでは3年生と大学院1年生全員、赤羽台キャンパスでは2・3年生全員を対象に全員面談を行い、個々の事情にあわせたキャリア形成のアドバイスとサポートを行っている。

### ●キャリア心理学講座

赤羽台キャンパスでは、就職活動に前向きになることの出来ない学生が、内的環境や外的環境の変化にあわせて主体的にキャリアデザインできるようになるための専門家による心理学的アプローチを行い（日英同時）、進路選択の可能性を広げる取り組みを行っている。

## 【問題点・課題】

就職・キャリア支援委員会における検討を踏まえ、以下の問題点・課題点が認められる。

### ●外国人留学生対策

スーパーグローバル創成支援採択事業の進捗に伴い、外国人留学生の急増が見込まれる。外国人留学生の日本での就職を促進するためには、日本語教育の向上、日本企業や日本での就職活動の特徴の理解が必要不可欠となっている。

### ●学部のキャリア教育と就職支援との連携

就職・キャリア支援課が把握している最新の動向を、特に低学年を対象とするキャリア教育に活かす等、正課と正課外が連携することで、多様な人材と交流し知識や技能を受容できる価値観を身につけて多様な働き方を考えられるようになるための、Society5.0を見据えた就業意識の醸成に取り組む必要がある。

## ●自己点検・評価体制

就職・キャリア支援委員会における各種支援の報告や統計等、点検・評価のための資料はあるものの、それらに基づく点検・評価の具体的な観点が見えていないため、継続的な改善の取り組みを可能とするための枠組みが必要である。

### 【将来に向けた発展方策】

## ●「鉄紺企業」地方企業並びに首都圏企業との連携 - 「鉄紺企業」認定制度

内閣府が定めた、まち・ひと・しごと創生総合戦略第2期開始にあわせ、本学がターゲットとする著名企業への就職支援のみならず、「知名度」は高くなくとも「働き方」において優良な首都圏のBtoB企業、地方に位置しながらも本学学生のボリュームゾーンに位置するような優良企業とのネットワークを確立し、そのような企業への認知度を高めて重点的に就職支援を推進することで、本学の就職支援のための基盤強化を図ることができる。そのための取り組みとして、学生が認知しにくい首都圏のBtoB企業および地方の“優良企業”について、働きやすさ、収益性、成長性、安定性、独創性、独立性、適応性等の本学が独自に定める基準を満たす企業を「鉄紺企業」に認定し、学生を誘導する。BtoB企業の選定にあたっては、イノベーション力、人材活用力、市場開拓力、経営基盤等が高い企業であることなどを、地方企業の選定にあたっては、協定を結んだ各自治体とも連携を密にし、学内外に積極的なUターン支援事業であることをPRする。また、選定した企業については、積極的な連携を模索し、対外的な広報を行うと共に、学生に紹介、誘導する。

## ●外国人留学生対策

外国人留学生の日本における就職支援の充実を図るため、日本語教育、インターンシップの授業科目を提供している国際教育センターとの連携を強化し、日本語運用能力の向上、就職活動や就労における海外と日本との違いに関する理解の促進を図る。事務レベルでは国際部との連携は進んでおり、今後は就職・キャリア支援委員会委員と国際教育センターとの連携を深め、更なる外国人留学生支援の充実を図っていく。

## ●Society5.0に向けた就業意識の醸成

社会における新卒者の雇用情勢や新たな採用形態を踏まえ、就職活動の早期化、形骸化に向けた低学年からの就業意識の醸成、特に、Society5.0が実装される社会に向けたオープンイノベーションを志向するマインドセット形成に向けた取り組みを行いたい。また、内閣府が定めた、まち・ひと・しごと創生総合戦略第2期開始にあわせ、本学がターゲットとする著名企業への就職支援のみならず、地方企業について、本学学生のボリュームゾーンに位置するような優良地方企業とのネットワークを確立すると共に、学生の社会的自立に向けた取り組みとして、学生の企業選びの際に、知名度だけに偏らず、働き方改革や、ICT技術の活用やテレワークなど、業務効率化や多様化の動きを積極的に取り入れた「働き方」を重視した企業の選択にも視野を広げるための取り組みを行いたい。

## ●自己点検・評価体制の整備

現在、就職・キャリア支援委員会において資料に基づく報告および意見交換というかたちで行っている点検・評価について、より効果的に改善の営み（PDCA）を継続していくための枠組みを構築する。そのために、学生の就職支援に係る全学方針に照らして点検・評価の観点および点検・評価項目を明確に設定し、これに準じた点検・評価作業を行い、その結果に基づく改善の取り組みを行う枠組みを確立し、就職・キャリア支援委員会においてこれを実施する。

## 【根拠資料】

- 1\_2019年3月卒業生の学部学科別就職者率・進学率・進路決定率・就職率（学部第1部）
- 2\_2019年3月卒業生の学部別主な就職先
- 3\_2019年3月卒業生のUターン就職状況（学部第1・2部）
- 4\_東洋大学公務員就職実績（2019年3月卒）
- 5\_東洋大学における就職活動支援体制（2019年度）
- 6\_学年別支援行事一覧
- 7\_就職支援プログラムガイド（2019春学期版）
- 8\_就職支援プログラムガイド（2018秋学期版）
- 9\_1 川越キャンパス就職・キャリア形成支援行事一覧
- 9-2 朝霞キャンパス就職・キャリア形成支援行事一覧
- 9-3 板倉キャンパス就職・キャリア形成支援行事一覧
- 9-4 赤羽台キャンパス就職・キャリア形成支援行事一覧
- 10\_学内企業説明会パンフレット
- 11\_就活LIVEパンフレット冊子
- 12-1\_学部4年生、院2年生対象学内企業説明会参加企業一覧（2019年6月）
- 12-2\_外国人留学生向け合同企業説明会参加企業一覧（2019年6月）
- 13\_学内合同企業説明会参加企業一覧（2019年8月）
- 14-1\_PROG 2019年度結果概要ご報告（学長室会議報告資料）
- 14-2\_PROG 報告会資料\_受験者数
- 14-3\_PROG 追加分析報告書
- 15\_低学年からの伴走型支援行事について
- 16\_2019年度U・I・Jターン就職支援
- 17\_2019年度就職・キャリア/国際部主幹外国人留学生支援プログラム
- 18\_Uターン就職支援に関する協定締結先一覧
- 19-1\_日本人留学先向け支援（Webex面談）
- 19-2\_日本人留学生向け支援（留学出発前に押さえておきたい就職活動準備について）
- 19-3\_日本人留学生向け支援（留学帰国後キャリアセミナー）
- 20\_運動部の就職活動支援基本方針
- 21\_障がい学生支援について
- 22\_就職活動ガイドブック2020
- 23\_東洋大学就職活動支援セミナーテキストブック2019
- 24\_キャリアデザイン2019
- 25-1\_就職活動記2019\_表1-4
- 25\_2\_就職活動記2019
- 26\_公務員ガイドブック活動記2019
- 27\_仕事BOOK2019
- 28\_自立への道No.23
- 29\_2019年度東洋大学父母懇談会ガイドブック
- 30-1\_就職・キャリア支援課中期計画シート①（企業連携）
- 30-2\_就職・キャリア支援課中期計画シート②（キャリアマインド形成）
- 30-3\_就職・キャリア支援課中期計画シート③（アスリートデュアルキャリア支援）